

コミュニティ・スクール新聞

発行所
藤中学区
学校運営協
議会事務局

進む体制整備

9月16日(金)、葉梨交流センターで藤枝市コミュニティ・スクール(CS)研修会が開催されました。参加者は市内の全ての小中学校の小中一貫教育コーディネーターの先生方とCSディレクターです。静岡大学の島田桂吾 准教授に『学校と地域をつなぐ、CSと地域学校協働活動』と題する講演をしていただきました。

を紹介していただきました。地域と学校が協働していくことで子どもたちが健やかに成長していけるのだと実感しました。

また、県教育委員会の方々には、『学校とCSディレクター、地域学校協働活動推進委員との連携』と題して講義をしていただきました。その中で多忙な先生方ですが小中一貫教育コーディネーターを担うことは、多くの学校の応援団とつながるチャンスと捉え、様々な人々とつながることができる機会なのだという話をいただきました。

一人一人の資質・能力を伸ばせるようにしていくことは、教職員をはじめとする学校関係者はもとより、家庭や地域の人々も含め、様々な立場から児童や学校に関わる全ての大人に期待される役割である。』との一文



グループ協議では

講演後に実施されたグループ協議では、藤中学区小中4校の先生方(小中一貫教育コーディネーター)とCSディレクター2名の合計6人で講演や講義を受けての意見や思い、また今後の活動・連携について話し合いを持ちました。話し合いの中では、『育いたい子ども像をしっかりと持ち、そのために必要なことは何かを考え、目標がぶれないようにすることが大切』『学年行事に、ふるさとの誇りを担う子どもたちという目標をもっと反映できないか』などの意見が交わされました。



学校と地域の協働

9月29日(木)、昼休みの時間を使い藤枝中学の環境中庭専門委員が藤枝市花の会の岩城千城さんの指導の下にルピナスの種を植えました。今後の花壇への苗の移植に向けた準備です。本年度は既に岩城さんを中心とした地域の方の協力を得て、中庭の環境整備が進んでいます。花壇の土壌作りや除草シートの設置など、環境中庭専門委員が活動しやすい土台作りに尽力していただいています。



混雑するスクランブル交差点

蓮華寺池前のスクランブル交差点はピーク時には小学生・中学生・高校生・一般の方々が集中する交差点です。左の写真は9月26日のここにこあいさつ運動の時の写真ですが、その様子が分かります。



常葉大学名誉教授

山田 辰美

身近にある瀬戸川の魅力を感じていますか。川魚の対象も多種多様で、アユ、ウナギ、ハゼ類、モクズガニなど。昔は、夕方が近づくと野良仕事を早々に終えた大人が釣竿を片手に集まったものです。

清らかな流れと広い河原が自慢で、水浴びや魚捕りなど、子どもが安心して遊べる場所でした。平たい石を探して、平瀬で

ふるさとの先達!

「水切り」。水面を跳ねる回数や、川面に描かれる波紋の模様を楽しみました。きめの細かい緑色の蛇紋岩が拾え、これを砂岩で削り形を整え、ムクノキの葉で磨き上げると、宝石のような光沢や模様ができます。「よもぎ石磨き」という楽しい遊びです。

ちなみに、校庭にあるヒオトープは瀬戸川を身近に感じてもらうために、藤中同窓会がプレゼントしたものです。